

CONTENTS

編集方針	p1
経営理念／環境基本方針／会社概要	p2
Top Message	p3
Challenge for Sustainability [1] HEV(ハイブリッドカー)の進化を支える電池材料開発、リサイクルへの取り組み	p5
Challenge for Sustainability [2] 果物の生産と流通に革新をもたらした 三井金属の「青果物非破壊内部品質センサー」	p7
製錬事業における環境負荷の全体像	p9
環境マネジメント	p11
環境改善の取り組み	p13
安全衛生管理の取り組み	p15
いつも社会とともに。三井金属の環境貢献	p17



▶ 編集方針

「三井金属環境報告書2009」は、三井金属グループが2008年度に取り組んだ環境保全および労働安全衛生に関する活動についてまとめたものです。当グループの基本方針および体制、改善への取り組みと成果について説明しています。その際、取り組み事例を具体的に記載するとともに、なるべく定量的な記載を心がけました。また、当グループの多彩な活動と環境との関わりをご理解いただくため、当社の「電池材料開発」と「非破壊内部品質センサー」の取り組みについて特集し、ご紹介しています。

対象範囲	連結ベースの三井金属鉱業株式会社および主要関係会社
対象読者	お客様、株主、従業員、地域の方々などステークホルダーの皆様
対象期間	2008年4月から2009年3月 (一部の活動については2009年8月までの内容を含む)
発行時期	2009年9月

▶ 経営理念

創造と前進を旨とし、価値ある商品によって社会に貢献し、社業の永続的発展・成長を期す。

▶ 環境基本方針

理念

地球環境の保全を、経営上の最重要課題の一つとして位置付け、事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する。

方針

- 1 環境関係法規等を遵守するとともに、必要な自主基準を設け、環境汚染の予防、環境負荷低減に努める。
- 2 環境保全活動を推進するため、三井金属グループの各所社において、組織および体制の整備をはかる。
- 3 地球温暖化防止、廃棄物の削減、環境汚染物質の排出量削減について、目標を定めて取り組む。
- 4 環境に配慮した技術、材料および商品の開発を積極的に推進する。
- 5 定期的な監査を実施し、環境管理システムの継続的な改善をはかる。
- 6 三井金属グループで働くすべての人々に対し、環境に関する教育・啓蒙等を通じて、環境保全の重要性を認識させ、意識の向上をはかる。

この基本方針は、三井金属グループの全世界の各所社に適用する。

2007年6月28日 三井金属鉱業株式会社 代表取締役社長 竹林 義彦

会社概要

本社所在地	〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号
創立	昭和25年5月1日
資本金	42,129百万円
従業員数	11,203名(連結)、2,721名(単体)
連結売上高	427,191百万円

※資本金、従業員数、連結売上高は2009年3月末現在

●アンケート調査を実施し、誌面の充実に活かしました。
三井金属では、「環境報告書2008」をお読みいただいたステークホルダーの皆様を対象にアンケート調査を実施しました。本報告書の編集に当たっては、寄せられた貴重なご意見を参考にして誌面の充実を回り、見やすさ、読みやすさにも配慮しました。

主な業務内容

